

## 1 第2次札幌市中央卸売市場経営活性化プロジェクトについて

平成23（2011）年度に策定された、活性化ビジョンと経営改革プランの次期計画として、『第2次札幌市中央卸売市場経営活性化プロジェクト』を策定。計画期間は令和3年度（2021年度）から令和12年度（2030年度）の10年間。

### 【推進体制】

- ・市場関係事業者及び開設者等で組織する「経営展望推進委員会」で推進
- ・令和2年6月施行の改正卸売市場法が5年を目途に再検討される予定があること、計画開始後の外部環境の変化などへの対応を検討する必要があることなどから、5年を目途にプロジェクトの見直しを行うこととしている

経営展望推進委員会

… 計画の全体管理



7つのワーキンググループ（WG）

… 委員会の下部に組織され、計画上の各種取組を推進

- ①販売集荷WG、②施設利用WG、③取引適正化WG、④組織改革&食育事業WG  
⑤コンプライアンス推進WG、⑥情報発信WG、⑦環境防災対策WG

## 2 取組目標（指標）の進捗状況（R6まで）

1 運営編（札幌市の取組）	取組数	達成（見込含む）	未達・検討中
(1) 安定した収入の確保	6	2	4
(2) 継続的な支出の抑制	3	2	1
(3) 社会的要請への対応	5	3	2
合 計	14	7	7

2 活性化編（市場全体での取組）	取組数	達成（見込含む）	未達・検討中
(1) 地域経済に貢献する市場	9	9	0
(2) 環境負荷の少ない市場	4	2	2
(3) 安全・安心を守る市場	7	4	3
合 計	20	15	5

⇒約65%（34の取組のうち22取組）が達成（見込）で進捗

## 1 運営編（札幌市の取組）

## ＜1 安定した収入の確保＞

(1) 販売・集荷力強化支援事業					冊子：43 ページ			評価：未達・検討中		
概要	市場関係事業者が行う販売・集荷力の強化に資する取組に対して、補助金による後押しを行う									
	目標効果額 6,510 万円(各採択事業の3 年分販売額の売上高割使用料) ⇒ 実績(累計) 284 万円(R7.3 時点) ⇒ 評価 未達・検討中									
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標 (万円)	280	560	810	810	810	810	810	810	540	270
実績 (万円)	130	29	69	56						
これまでの取組	・販路拡大支援事業：R3 年度=5 件実施、R4 年度=3 件実施、R5 年度=5 件実施、R6 年度=4 件実施、R7 年度=4 件実施 ・産地連携支援事業：R6 年度= 1 件実施									
今後の取組	・補助重点事業の検討 輸出促進や産地連携等、年度ごとにその時々課題に対応した重点補助事業枠の設定を検討し、事業者及び市場会計に効果的な補助事業の実施を目指す									

(2) 市場関係事業者の輸出促進支援					冊子：43 ページ			評価：未達・検討中		
概要	国や北海道の輸出促進政策に関する情報収集、輸出向け商品開発への支援、輸出に関する証明書の市場内発行を検討・実施									
	目標効果額 2,110 万円(平成 30 年度輸出額（18.8 億円）に対する令和 6 年度以降各年度の輸出増加差額分についての売上高割使用料）⇒ 実績(累計) 0 万円(R7.3 時点) ⇒ 評価 未達・検討中									
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標 (万円)	—	—	—	64	155	225	301	386	452	527
実績 (万円)	—	—	—	0						
これまでの取組	<ul style="list-style-type: none"><li>輸出証明書交付窓口の設置 R4.10 に交付窓口を設置。これまで証明書を累計で 5 件交付</li><li>輸出ブランド化事業の創設 R5・6 年度に期間限定で重点的に輸出事業への支援を実施（採択 2 事業） R7 年度からは、より自由度の高い事業選択が可能な「販路拡大支援事業」に一本化</li></ul>									
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"><li>国や北海道、輸出促進団体等関係機関と連携し更なる輸出促進策の検討を図る</li><li>販路拡大支援事業と併せて輸出促進に繋がる補助事業のあり方について再検討を行う</li></ul>									

(3) 市場使用料の見直し					冊子：43 ページ			評価：未達・検討中		
概要	取引形態の変化を踏まえた適正な使用料の検討、受益者負担の原則に基づく使用料の検討									
	目標効果額	6,770 万円(立駐使用料改定分) ⇒				実績(累計)	0 万円(R7.3 時点) ⇒		評価	未達・検討中
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標 (万円)	677	677	677	677	677	677	677	677	677	677
実績 (万円)	0	0	0	0						
これまでの取組	R3 年度に立体駐車場使用料の値上げを検討したが、感染症の拡大により経済回復が停滞しつつあることや、今後の修繕経費の抑制見通しなどを踏まえ、改定を見送り									
今後の取組	上記の値上げについて、第2次プロジェクトの改定時に再度検討									

(4) 市場内空室の解消・稼働率向上による収益確保					冊子：44 ページ			評価：達成(見込)			
概要	市場内の空室に官公庁組織等も含めた誘致、飲食スペース等の設置による観光客にも利用してもらえる環境づくり、調理実習室の稼働率向上										
	目標効果額 5,130 万円(プロジェクト策定時の R2 予算と各年度の実績差額)										
	⇒ 実績(累計) 1,723 万円(R7.3 時点) ⇒ 評価 達成(見込)										
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
目標 (万円)	40	40	40	716	716	716	716	716	716	714	
実績 (万円)	1,431	1,609	△761	△556							
これまでの取組	・ 空室対策 (R3～) テナント募集のチラシ作成や市場ホームページ掲載など、場内・場外にむけて周知活動を継続して実施 R7 年度は、庁内向けホームページの仕様変更に伴い、空室情報の常設ページを新たに作成し情報発信を行うとともに、不動産業者と意見交換を実施										
今後の取組	不動産会社が運営する「賃貸物件検索サイト」の活用や、区画を分割して複数の小規模な事務所等を誘致すること等を検討										

(5) 受益者負担の適正化①					冊子：44 ページ			評価：未達・検討中		
概要	市場施設・用地の利用実態について調査し、パレット置場や無断使用部を有料化									
	目標効果額 4,386 万円 ⇒ 実績(累計) 180 万円(R7.3 時点) ⇒ 評価 未達・検討中									
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標(万円)	438	438	438	438	438	438	438	438	438	444
実績(万円)	60	40	40	40						
これまでの取組	R3.4～青果部パレット運用協議会（R5.6 以降、みらいが使用承認）にパレット置場として空地を使用指定 R6.8：夏期繁忙期に駐車場利用実態調査、入退場車両調査を実施 R6.12：年末繁忙期に駐車場利用実態調査、入退場車両調査を実施									
今後の取組	調査結果を基に構内運搬車電動化に伴う駐車・充電場所の確定などと併せて順次有料化に向け整理・検討									

(5) 受益者負担の適正化②					冊子：44 ページ			評価：未達・検討中		
概要	生ごみ排出及び処分費用の有料化									
	目標効果額	2,694 万円 ⇒		実績(累計)	728 万円(R7.3 時点) ⇒			評価	未達・検討中	
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標(万円)	209	165	232	232	309	309	309	309	309	311
実績(万円)	0	0	367	361						
これまでの取組	R5.4：青果生ごみ有料化の実施 青果生ごみの処分費用及び生ごみ計量にかかる経費の 50%を青果卸・仲卸へ負担金として請求									
今後の取組	青果生ごみの負担割合については、青果生ごみの排出状況を踏まえて、R8年度以降に議論									

(6) 市場施設の有効活用					冊子：44 ページ			評価：達成(見込)		
概要	休市日や取引を行っていない時間帯における駐車場の有効活用、第2 守衛室隣接駐車場を月極駐車場に転用									
	目標効果額 1,100 万円 ⇒ 実績(累計) 431 万円(R7.3 時点) ⇒ 評価 達成(見込)									
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標 (万円)	110	110	110	110	110	110	110	110	110	110
実績 (万円)	62	123	123	123						
これまでの取組	R3.10～：第2守衛室隣接駐車場の月極駐車場化の実施（11 台：月額計 102,850 円）									
今後の取組	休市日や取引を行っていない時間帯における駐車場の有効活用について検討									

## ≪ 2 継続的な支出の抑制 ≫

(1) 計画的な施設の更新					冊子：45 ページ			評価：達成(見込)		
概要	建物の定期的な点検に基づく計画的な修繕や修繕方法の見直しによる建物の長寿命化、突発的な設備故障による業務の停滞の防止									
	目標効果額 1 億円（修繕費予算に対する未執行額）⇒ 実績(累計) 6,592 万円(R7.3 時点)									
	⇒ 評価 達成(見込)									
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標 (万円)	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
実績 (万円)	843	1,398	2,029	2,322						
これまでの取組	・設備の計画的な更新を行い、突発的な故障による業務の停滞を抑制 ・「青果棟屋上防水改修工事」(R4～)において耐用年数の長い工法を採用									
今後の取組	引き続き、長寿命化に寄与する計画的な改修と設備更新を行い、修繕費の抑制に繋げる									

(2) 事務経費の削減					冊子：45 ページ			評価：達成(見込)		
概要	業務の見直しや効率化によりさらなる事務経費を削減、ペーパーレス化の推進									
	目標効果額	3,650 万円（対象経費の R2 予算比の削減額）⇒					実績(累計)	1,748 万円 (R7.3 時点) ⇒ 評価 達成(見込)		
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標 (万円)	365	365	365	365	365	365	365	365	365	365
実績 (万円)	439	296	412	601						
これまでの取組	超勤・休日出勤など、削減対象である事務経費の削減									
今後の取組	引き続き、業務の効率化を行い、事務経費の削減に努める									

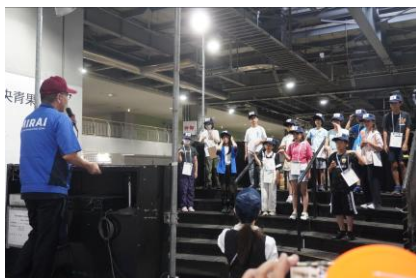

(3) 資源リサイクル施設の在り方検討					冊子：45 ページ			評価：未達・検討中		
概要	生ごみや木製廃パレットの排出量が減少傾向であるため、施設の在り方を見直し、停止を含めた検討を実施									
	目標効果額 6,480 万円（停止に伴う経費削減額）⇒ 実績(累計) 0 円(R7.3 時点)									
	⇒ 評価 未達・検討中									
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標 (万円)								2,160	2,160	2,160
実績 (万円)										
これまでの取組	・ 資源リサイクル施設の運用等について、道庁等と協議 ・ 機器更新及び修繕などは最低限に抑え、施設停止を見据えた効率的かつ安全な運転を実践									
今後の取組	・ 資源リサイクル施設の現状や設備の安全性、今後の停止時期、停止後における影響等の状況も踏まえ、資源リサイクル施設の方向性について検討									

### << 3 社会的要請への対応 >>

(1) 危機管理体制の増強					冊子：46 ページ			評価：未達・検討中		
概要	市場全体としての事業継続計画(BCP)を策定。防災訓練の実施や災害備蓄品を充実									
	目標	年に1度事業継続計画の見直し ⇒			実績(R6 まで)	BCP 検討中 ⇒		評価	未達・検討中	
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標	年に1度事業継続計画の見直し									
実績	—	—	—	検討						
これまでの取組	R5.11、R6.11、R7.10：市場全体での防災訓練の実施									
今後の取組	・水産及び青果の卸各社で自社 BCP 策定に取り組んでおり、「札幌市業務継続計画」や「札幌市中央卸売市場消防計画」と、各社策定の BCP の内容について、連携が取れるよう、調整及び検討を行う									

(2) 多様なエネルギー機器の導入支援					冊子：46 ページ			評価：達成			
概要	多様なエネルギー機器を導入しやすい環境を整備										
	目標	導入検討事業者数 10 社 ⇒				実績(累計)	51 社(R7.3 時点) ⇒		評価	達成	
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
目標 (社)	延べ 10 (R3~R5)										
実績 (社)	—	—	51	51							
これまでの取組	電動の構内運搬車両の導入に向け、場内事業者と協議・検討 施設整備に向けた基本設計の実施										
今後の取組	構内運搬車電動化に向けた、受変電設備増強等の施設整備 ・R6～8年度：基本設計、実施設計 ・R8～10 年度：受変電設備改修工事、充電設備設置工事										

(3) 観光客の取り込み					冊子：47 ページ			評価：達成(見込)			
概要	見学スペースでのWi-Fi 導入や観光客向けの飲食スペースの設置検討など、より来場してもらえる施設整備										
	目標 見学者数前年比プラス ⇒ 実績(R6 まで) 見学再開後のR4 以降は前年比プラスを達成 ⇒ 評価 達成(見込)										
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
目標	見学者数前年比プラス										
実績(増減) (見学者数)	— 見学休止	— 2,087	+1,139 3,226	+566 3,792							
これまでの取組	・R3.4：見学スペースでのWi-Fi 導入 ・R5.2：札幌市教育委員会を通じて、市内小中学校への市場見学の周知を実施 ・R6.1：京都市場等視察（市場見学の内容見直しに向けた視察）										
今後の取組	観光客のほか、市民も含めて市場の役割や重要性を理解してもらえる取組の検討										

(4) 食育ツアーの実施					冊子：47 ページ			評価：達成(見込)			
概要	小学生等に市場を直接体験してもらう食育ツアーを実施するなど、食育に寄与する取組の実施										
	目標 見学ツアー夏冬1回実施 ⇒ 実績(R6 まで) R6は夏冬1回実施を達成 ⇒ 評価 達成(見込)										
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
目標 (回)	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
実績 (回)	0	1	1	2							
これまでの取組	<div>・R4 年度：札幌連会員を対象に、食育ツアー（試行版）の実施</div> <div>・R5 年度：近隣小学校2校から参加者を募集し、食育ツアー本格実施</div> <div>・R6 年度：冬のみ実施から夏冬1回ずつ実施に拡大【目標達成】</div> <div>募集対象を2校→3校に拡大（二十四軒小を追加）</div> <div>※R7開催状況</div> <div>夏（R7.8.23）：〈内容〉模擬せり体験・ほっきのむき方教室・試食会など</div> <div>冬：1回開催を予定</div> <div><div></div><div></div></div>										
今後の取組	毎年度、夏冬1回の開催予定										

(5) 環境負荷軽減に寄与する取組の推進					冊子：47 ページ			評価：未達・検討中			
概要	SDGs の支援において社会貢献を行った事業者の表彰など、環境負荷軽減に寄与する活動を後押し										
	目標 取組参加事業者数 10 社/年 ⇒ 実績(R6 まで) カウント未実施										
	⇒ 評価 未達・手法等検討中										
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
目標 (社)	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	
実績 (社)	0	0	0	0							
これまでの取組	・ R4.10：大都市担当者会議において他都市事例の情報収集 ・ R4.11：場内事業者へのヒアリング実施（表彰対象となる取組なし） ・ R5.3：WG 内の取り組むべき課題としては優先順位を下げることにするが、環境負荷軽減に繋がる方策を引き続き検討していくこととした										
今後の取組	場内事業者の環境負荷軽減に寄与する取組への評価方法・手法の検討										

## 2 活性化編（市場全体での取組）

### ＜ 1 地域経済に貢献する市場 ＞

(1) 市場関係事業者の共同実施による取組					冊子：56 ページ			評価：達成(見込)		
概要	輸出に関する検討や他市場との連携等共同実施により取り組むべき事業の検討									
	目標	新たな共同事業の実施(10 年間で 3 件) ⇒				実績(累計)	6 件(R7.3 時点) ⇒		評価	達成(見込)
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標 (件)	10 年間で 3 件									
実績 (件)	0	2	2	2						
これまでの取組	R4 年度：市場内(開設者事務室)に輸出証明書発行窓口を開設 いちばいちばん！キャンペーンの実施 R5 年度：みらいと開設者が道内 6 力所の産地訪問を実施 道産水産物応援デー（水産仲卸店舗での一般消費者向け販売）の開催 R6 年度：みらいと開設者が産地連携支援事業の連携先の産地訪問を実施（8 月） 水産卸売業者が合同展示会を実施（新たに近隣民間駐車場を活用）（9 月） R7 年度：産地連携支援事業の水産物部への展開に向け場内事業者と協議・検討									
今後の取組	各種取組の検討 ・国や北海道による輸出促進政策を踏まえた輸出拡大に向けた取組 ・国や北海道及び札幌市の事業者支援・消費喚起事業と連携した取組 ・産地と連携した安定集荷に向けた取組 ・その他、市場におけるその時々緊急課題の対応に必要な共同事業の取組									




(2) 市場関係事業者による新たな取組					冊子：57 ページ			評価：達成		
概要	実需者に対するリテールサポート業務や生産者と実需者を結ぶコーディネート機能の強化等、各事業者が新規事業を検討									
	目標 新たな事業の実施(10 年累計で 12 件以上) ⇒ 実績(累計) 20 件(R7.3 時点) ⇒ 評価 達成 (見込)									
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標 (件)	10 年累計で 12 件以上									
実績 (件)	5	3	7	5						
これまでの取組	<div>・販路拡大支援事業：R3 年度=5 件実施、R4 年度=3 件実施、R5 年度=5 件実施、R6 年度=4 件実施、R7 年度=4 件実施</div> <div>・輸出ブランド化事業：R5 年度=2 件実施</div> <div>・産地連携支援事業：R6 年度= 1 件実施</div>									
今後の取組	新たな事業の実施について、毎年度意向調査を行い、補助事業を継続実施									

(3) 買出人制度及び法改正後の取引ルールの見直し					冊子：59 ページ			評価：達成(見込)		
概要	買出し人制度の資格要件、入場ルールの見直し、水産物部と青果部で異なるルールの解消、法改正を踏まえた取引ルールの見直しなど									
	目標 ルールの見直し(R6 年度を目途) ⇒ 実績(R6 まで) 概ね達成 ⇒ 評価 達成(見込)									
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標	ルールの見直し（R6 年度を目途）									
実績	一部改正	一部改正	一部改正	一部改正						
これまでの取組	取引ルール見直しのため、各種規則・要領の改正を実施									
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"><li>令和2年の改正卸売市場法施行から5年が経過したことから、現在の取引ルールについて評価と検証を行うためのアンケートを実施し、その結果を基に議論を行う予定</li><li>令和7年6月に卸売市場法が改正されたことに伴い、札幌市中央卸売市場業務規程を改正（食品等持続的供給法に係る公表事項の整備）し、令和8年4月に施行予定</li></ul>									



(4) 精算事務の効率化					冊子：59 ページ			評価：達成(見込)		
概要	ペーパーレス化の推進、口座振替決済への移行等により、決済事務の効率化と買出人の利便性向上を図る									
	目標 効率化策の実施(R6 年度を目途) ⇒ 実績(R6 まで) 概ね達成 ⇒ 評価 達成(見込)									
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標	効率化策の実施（R6 年度を目途）									
実績			検討	検討						
これまでの取組	<ul style="list-style-type: none"><li>水産物部：R3.1 より精算会社におけるリアルタイム口座振替の稼働開始</li><li>青 果 部：R7.4 より精算会社におけるリアルタイム口座振替の稼働開始</li></ul>									
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"><li>リアルタイム口座振替の利用者増を促進し、さらなる業務効率化および利便性向上の可能性について、随時、検討を行う</li></ul>									

(5) 食育事業及び消費拡大事業の推進					冊子：60 ページ			評価：達成		
概要	水産物部と青果部による消費拡大事業や食育事業の効率的な運営体制の構築。北海道製品の消費拡大につながる魅力的なイベント実施の検討									
	目標	魅力的なイベントの実施(年 6 件以上) ⇒				実績(R6 まで)	毎年度6件以上実施 ⇒			
	評価	達成								
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標 (件)	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
実績 (件)	6	8	8	8						
これまでの取組	水産協議会及び青果部運営協議会による各種イベント（水産・青果小売店販促キャンペーン、食育セミナー、料理講習会等）の実施									
今後の取組	各種イベントの継続実施									

(6) SNS を活用した情報発信					冊子：60 ページ			評価：達成（見込）			
概要	SNS 等を活用して北海道産品の魅力を伝え、市場流通品の消費拡大につなげる										
	目標	市場×フォロワー数 1,500 件以上 ⇒				実績(R6 まで)	R5.10 にフォロワー数 1,500 件達成 ⇒				評価
年度		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標		市場×フォロワー数 1,500 件以上									
実績 (状況) (フォロー数)		— 1,284	— 1,437	達成 1,550	達成 1,751						
これまでの取組		<div><div><div><div>・R3～：中央卸売市場の公式 X にて、旬の食材や初入荷等のイベントを紹介</div><div>・R5 年度： 市場協会 YouTube でショート動画（旬の食材等）を計 22 本配信 市場協会 YouTube にせり動画を投稿、見学者通路に視聴用 QR 設置（7 月） 市場協会 YouTube の宣伝チラシを水産協議会を通じて保育園、小学校の料理教室時に 1,095 枚配布（8～11 月）</div><div>・R6 年度： 場内 12 団体から写真や動画の提供を受けて、ショート動画等を 20 本配信 学生による取材・編集を経た記事 14 本、ショート動画 15 本を配信</div><div>・R7 年度： 市場協会 YouTube、Instagram でショート動画 16 本ずつ配信（4～11 月） 公式 X フォロワー数：1,810 件（～11 月） 市場見学者用 DVD（2008 年製）をリニューアル（10 月～）</div></div></div><div><div></div><div></div><div></div></div></div>									
今後の取組		・市場協会 Instagram と YouTube を活用した情報発信									

(7) 産学共同での食文化の振興					冊子：60 ページ			評価：達成（見込）			
概要	産学共同での食文化の研究会やイベント実施を通じ、新たな食材の提案などを行い、食文化の振興を図る										
	目標	産学共同イベントの実施(年 1 件以上) ⇒				実績(R6 まで)	毎年度 1 件以上実施				
	⇒	評価	達成（見込）								
年度		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標	(件)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
実績	(件)	1	1	1	1						
これまでの取組		水産（曲メ）、青果（みらい）、北大等で組織された北海道食文化研究会による取組 R3・R4 年度：イベント実施の代替として YouTube 動画に水産（曲メ）が出演 R5 年度：産学共同イベント（セミナー）を実施 R6 年度：水産部会セミナーを実施（10 月） 賞味会の実施（1 月） R7 年度：水産部会セミナーを実施（10 月）									
今後の取組		北海道食文化研究会による産学共同イベントを毎年度継続実施									

(8) 各事業者の人材確保					冊子：63 ページ			評価：達成(見込)			
概要	働き方に対する意識改革のための講習会を開催するなど、若手社員の定着化や女性活躍推進に向けた取組の検討を行う										
	目標 講習会の開催(年1回以上) ⇒ 実績(R6 まで) 毎年度1回以上開催 ⇒ 評価 達成(見込)										
年度		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標	(回)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
実績	(回)	1	1	1	1						
これまでの取組		・講習会の開催 R6 講習会テーマ：早期離職を防ぐための採用活動について (過去テーマ) 電子帳簿保存法・インボイス制度について(R3)、求人の動向とこれからの採用(R4)、Z世代を理解しよう(R5)									
今後の取組		・人材確保に係る効果的な取組の検討									

(9) 事業所内保育所の整備						冊子：63 ページ			評価：達成		
概要	子育て世代の職場環境の整備のため、保育ニーズを把握したうえで事業所内保育所の設置について検討										
	目標 職場環境整備(R6 年度を目処に設置判断)				⇒ 実績(R6 まで)			設置見送りで判断済 ⇒		評価 達成	
年度		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標	職場環境整備(R6 年度を目処に設置判断)										
実績		R5 に設置見送りを決定									
これまでの取組		<ul style="list-style-type: none"><li>・ R4 年度：企業主導型保育所 2 園との連携協定に関する制度周知に努めるとともに、場内事業者の保育ニーズ把握</li><li>・ R5.10：WG にて、事業所内保育所の設置を見送り、必要に応じて企業主導型保育所との連携を拡充していくことで承認を得る</li><li>・ 年に 2 回、連携協定を締結している保育所について場内事業者に再度周知</li></ul>									
今後の取組		企業主導型保育所の認知向上、連携保育所の利用に係る定期的な周知									

# << 2 環境負荷の少ない市場 >>

(1) 物流の効率化					冊子：64 ページ			評価：達成(見込)			
概要	荷降ろし時間の長時間化を解消するため、物流の効率化を図るとともに、阻害する状況も継続して改善する										
	目標	市場内物流の改善(取引開始前までの荷降ろし完了の徹底) ⇒							実績	改善(※) ⇒	評価
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
目標	市場内物流の改善(取引開始前までの荷降ろし完了の徹底)										
実績	—	—	改善(※)	—							
これまでの取組	R5.11：卸(みらい)が青果棟 A 通路を活用した荷降ろし作業の取組を開始 入出荷受付予約システムを試験的に導入し、荷待・荷役作業短縮の実証を行う R6.11：卸(みらい)が到着トラック全車に対する「到着予約システム」を本格導入 荷降ろし所要時間2時間以内を目標とし、運用を進める (※) R5.11：青果売場において、卸・仲卸が協議の上、卸売業者が売場及び荷捌きスペースを減、仲卸業者が荷捌きスペースを増とする使用指定の変更を行い、市場内物流の改善を図った										
今後の取組	運用後の問題点洗い出しと改善策、水産物部への共有と改善に向けて検討										

(2) 施設等利用実態の整理と受益者負担					冊子：64 ページ			評価：未達・検討中		
概要	施設等利用に関し、便益の実態を調査、整理して、公正かつ適正な受益者負担を図る									
	目標 受益者負担に係るルールの設定(R5 年度を目処に設定) ⇒ 実績(R6 まで) 未設定									
	⇒ 評価 未達・検討中									
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標	受益者負担に係るルールの設定(R5 年度を目処に設定)									
実績	—	—	—	未設定						
これまでの取組	R5.12：深夜帯を含めた場内の駐車台数と周辺道路の路上駐車状況調査を実施 R6.8：夏期繁忙期における場内の駐車台数と各出入口の入退場車両の調査業務を実施 R6.12：年末繁忙期における場内の駐車台数と各出入口の入退場車両の調査業務を実施									
今後の取組	・R6 までの調査結果を基に構内運搬車電動化に伴う駐車・充電場所の確定などと併せて順次整理・検討 ・施設利用実態調査結果により、ゾーニングなど場内整理の見直しを検討									

(3) 環境負荷軽減に向けた取組					冊子：65 ページ			評価：達成		
概要	流通における食品ロス削減など、環境負荷軽減に向けた取組を検討									
	目標 生ごみ量の削減(取組実施前比 10%の削減量) ⇒ 実績 達成（有料化した R5 実績が前年度比約 30%減）⇒ 評価 達成									
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標 (%)	—	—	10	10						
実績 (%)	—	—	29	29						
これまでの取組	R5.4：青果生ごみ有料化（青果生ごみの処分費用及び生ごみ計量にかかる経費の 50%を青果卸・仲卸へ負担金として請求）の実施 R6.12：一般ごみの負担額（現状：1ℓあたり2円）について、R7.4 から 1ℓあたり3円、R8.4 月から 1ℓあたり4円に引き上げることで、WG にて決定 R7.3：生ごみ排出量は取組み実施前の R4 年度と比べて約3割減									
今後の取組	・青果生ごみの負担割合については、排出状況を踏まえて、R8 年度以降に議論 ・廃棄物の削減に向けて引き続き検討									

(4) 持続可能性に配慮した生鮮品の調達				冊子：65 ページ				評価：未達・検討中			
概要	資源の持続可能性に関する国際認証等の取得に向けた調査、検討を実施										
	目標 市場関係事業者による認証の取得(10 年間で 5 件) ⇒ 実績(累計) 2件(R7.3 時点)										
	⇒ 評価 未達・検討中										
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
目標 (件)	10 年間で 5 件										
実績 (件)	0	0	2	0							
これまでの取組	曲々高橋水産(株)：MEL 認証取得 (2023 年 9 月) 青池水産(株)：MEL 認証取得 (2023 年 10 月) 										
今後の取組	産業振興財団で募集している食品認証取得補助金の情報提供の実施等により、市場関係事業者による国際認証取得を推進										

### ≪ 3 安全・安心を守る市場 ≫

(1) 市場内の人材育成					冊子：66 ページ			評価：達成(見込)					
概要	法令や市場内ルールの周知及び順守のための講習会を開催するなど、人材育成に努める												
	目標		講習会の開催(年1回以上) ⇒			実績(R6 まで)		毎年度1回以上開催 ⇒		評価		達成(見込)	
年度		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12		
目標	(回)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
実績	(回)	5	15	10	10								
これまでの取組		<div>・全体での講習会等の開催</div> <div>R3 講習会テーマ：電子帳簿保存法について、インボイス制度について</div> <div>R4 講習会テーマ：事業者での SNS 活用における注意点</div> <div>R5 講習会テーマ：食品偽装事件から考える組織不祥事の発生メカニズムと防止のマネジメント</div> <div>R6 講習会テーマ：カスタマーハラスメント防止研修</div> <div>R7 年度も、各種ハラスメントや、SNS を利用した犯罪トラブル等をテーマとした講習会を開催予定（テーマは今後選定）</div> <div>・各事業者でのコンプライアンス研修の実施</div>											
今後の取組		<div>・WG 主催の講習会の継続開催（年1回以上）</div>											

(2) 各社のコンプラ意識の向上					冊子：66 ページ			評価：未達・検討中			
概要	コンプライアンスの徹底を図り、生産者、実需者、消費者及び市場関係事業者からの信頼の確保と向上に努める										
	目標 各社のコンプラ意識向上(年 700 人以上の講習会等の参加) ⇒ 実績(R6 まで) 年 700 人以上の参加には未達 ⇒ 評価 未達・検討中										
年度		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標	(人)	700	700	700	700	700	700	700	700	700	700
実績	(人)	225	379	627	662						
これまでの取組		(1) 市場内の人材育成と同じ									
今後の取組		(1) 市場内の人材育成と同じ									

(3) HACCP 等に沿った衛生管理の徹底					冊子：67 ページ			評価：達成			
概要	HACCP の考え方を取り入れた衛生管理を徹底するなど、食の安全・安心の確保に向けた取組の検討、実施										
	目標 各社の衛生意識の向上 (HACCP 衛生管理計画書作成率 100%) ⇒ 実績 100% (R3 年度に達成) ⇒ 評価 達成										
年度		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標 (%)		100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
実績 (%)		100	100	100	100						
これまでの取組		HACCP 衛生管理計画書作成率=卸 3 社 100%、仲卸各社 100% (R3 に作成)									
今後の取組		HACCP 衛生管理計画書に基づいた衛生管理の徹底を推進									

(4) 入退場管理				冊子：67 ページ			評価：達成(見込)				
概要	衛生リスク管理、防犯の観点から適切な市場内入退場ルールを定め、周知徹底を図る										
	目標 入退場ルールの設定(R5 年度を目処に設定) ⇒ 実績(R6 まで) 設定(※)										
	⇒ 評価 達成(見込)										
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
目標	入退場ルールの設定(R5 年度を目処に設定)										
実績	設定(※)	—	—	—							
これまでの取組	入退場管理を行う上での市場施設の問題点等について有識者に相談 ⇒出入口が複数あり、また入場後の場内の行き来が自由であることから、管理が非常に困難であるため、動線整理を行う必要があるとの指摘あり (※) R3：取引適正化WGにおける検討を経て、「物品の品質管理に関する取扱要領」等を改正し、卸売場入場時の帽子着用の義務化等、入場ルールを設定して周知 (※) R6：施設利用WGにおいて、各団体に対し駐車場利用ルールの周知・徹底										
今後の取組	・構内運搬車電動化に合わせて動線整理を行い、入退場の管理方法についても検討 ・R6 年度に実施した場内の利用実態調査結果より、各出入口の利用状況を確認するなど、ルール化などの検討に向けて取り組む										

(5) 食文化・食育の振興				冊子：68 ページ				評価：未達・検討中			
概要	旬の食材などの食に関する情報の発信について SNS 等を積極的に活用していくことを検討し実施していく										
	目標 市場 HP 閲覧件数を前年度比プラス ⇒ 実績(R6 まで) R6 年度のみ前年度比マイナス見込み ⇒ 評価 未達・検討中										
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
目標	市場 HP 閲覧件数を前年度比プラス										
実績 (比率) (閲覧数 千件)	104 3,817	156 5,939	106 6,286	62 3,531							
これまでの取組	・市場 HP のブログにて、初せり、トップセールス、料理教室等のイベント情報の他、旬の食材等を取りあげて発信、そのほか、1ー(6) SNS を活用した情報発信と同じ ・R6 年度閲覧件数：3,875,324 件(前年比 56.2%) ・R7.4-9 閲覧件数：1,517,040 件（前年同期間比 67.5%）										
今後の取組	1ー(6) SNS を活用した情報発信と同じ										

(6) 市場関連イベント情報などのタイムリーな発信と市場の役割の周知、魅力の発信					冊子：69 ページ			評価：未達・検討中		
概要	イベント情報のタイムリーな発信と卸売市場が持つ公的役割や機能を市民に理解してもらえるPR 事業を検討し、実施する									
	目標 市場 HP 閲覧件数を前年度比プラス ⇒ 実績(R6 まで) 前年度比プラスを毎年度達成 ⇒ 評価 未達・検討中									
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標	(5) 食文化・食育の振興と同じ									
実績	(5) 食文化・食育の振興と同じ									
これまでの取組	(5) 食文化・食育の振興と同じ									
今後の取組	(5) 食文化・食育の振興と同じ									

(7) 統計情報等の適正な提供					冊子：69 ページ			評価：達成（見込）		
概要	卸売市場法で定められている日々の情報公表について、HP などを利用して適正に提供する									
	目標 正確な情報発信(毎年度不具合ゼロ件) ⇒ 実績(R6 まで) 毎年度不具合なし ⇒ 評価 達成（見込）									
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
目標 (件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実績 (件)	0	0	0	0						
これまでの取組	情報処理センターと連携し、システムの保守・更新を行うことによりシステムエラーを未然に防ぐよう努めている									
今後の取組	上記取組の継続実施									



## 第2次札幌市中央卸売市場経営活性化プロジェクトの見直しについて【資料2-3】

### 1 第2次プロジェクト概要

- 「第2次札幌市中央卸売市場経営活性化プロジェクト」は、「持続可能な強い市場」づくりのために、市場関係事業者と開設者とが一体となって、令和2年度に策定した経営計画
- 開設者の市場事業会計における投資・財政計画である「運営編」、市場関係事業者と開設者が取組を進める「活性化編」からなる「官・民が一体となって策定」したもので、令和3年度(2021年度)から令和12年度(2030年度)の10年間を計画期間とするもの
- 今回、5年の折り返しを迎えるにあたり計画の見直しを行うこととしている

理念	私たちは、札幌市民はもとより北海道民に対し、安全・安心でおいしい生鮮食料品を安定的に供給し続けます。
基本方針	札幌市場はレジリエントな市場を目指します

【運営編】	<b>基本目標</b> 持続可能な財務体質の構築
	●市場事業会計の収支計画 ●施設、設備の維持管理 ●事業者支援 ●市場機能の周知
【活性化編】	<b>基本目標</b> 食品流通の拠点として地域経済に貢献する市場 海と大地とともに歩む環境負荷の少ない市場 食品の安全・安心を守る市場
	●販売、集荷力強化 ●業務の効率化 ●消費拡大、食育事業

### 2 見直しの方向性

#### (1) 収支計画の見直し

- コロナ禍の影響や物価高騰など想定外の事象により、当初目標の「経常収支 10 年間累計 683 百万円」の達成が困難。可能な限り収支の均衡を図るよう見直し

#### (2) 改正卸売市場法施行後の取引状況の確認

- 現在国において、令和2年施行の「改正卸売市場法」のその後の状況について調査等を実施
- 国の動向を参考にしつつ、本市においても改正法の施行状況等について確認  
※令和2年施行の改正卸売市場法では、様々な取引規制が撤廃され、各市場において実情にあったルールを定めることとされた。当市場は、公的役割(生鮮食料品の安定供給)維持のため、令和2年に業務規程の一部改正を実施し、従来の取引ルールを維持

#### (3) 市場関係事業者との検討

- 経営展望推進委員会のワーキンググループで具体的な取組の評価・課題の洗い出し等を実施
- 令和7年度中を目途に意見のとりまとめを行う

### 3 今後のスケジュール(予定)

- 令和8年度上期に本協議会に見直し素案を諮問させていただく  
(※令和2年の第2次プロジェクト策定時は6月16日付で諮問、7月30日に答申)
- 令和8年度下期に市役所内部の手続きを行い、令和9年3月ころ見直し版策定